新しい衛星通信

新しい通信衛星

2011年 3月
東日本大震災

2016年 4月
熊本地震

「通話」中心の時代（音声インフラ）

2024年 1月
北陸地震

2024年 9月
北陸豪雨

2026年 7月
熊本地震

「通信」中心の時代（データ･衛星網）

Spark Your Journey
KDDI

新しい衛星通信

2022年Starlinkをau通信網のバックホール回線として利用開始




『Starlink』をバックホール回線として利用する基地局



https://www.starlink-au.jp/

Spark Your Journey
KDDI

新しい衛星通信

KDDIおよび山口衛星通信所は日本へのStarlink導入における制度、免許などの面からSpaceX社へ協力を実施。

KDDIトビラ　トップ　特集　動画　新着　カテゴリ

宇宙から「つなぐチカラ」を 「Starlink」で、つながらない場所をなくす

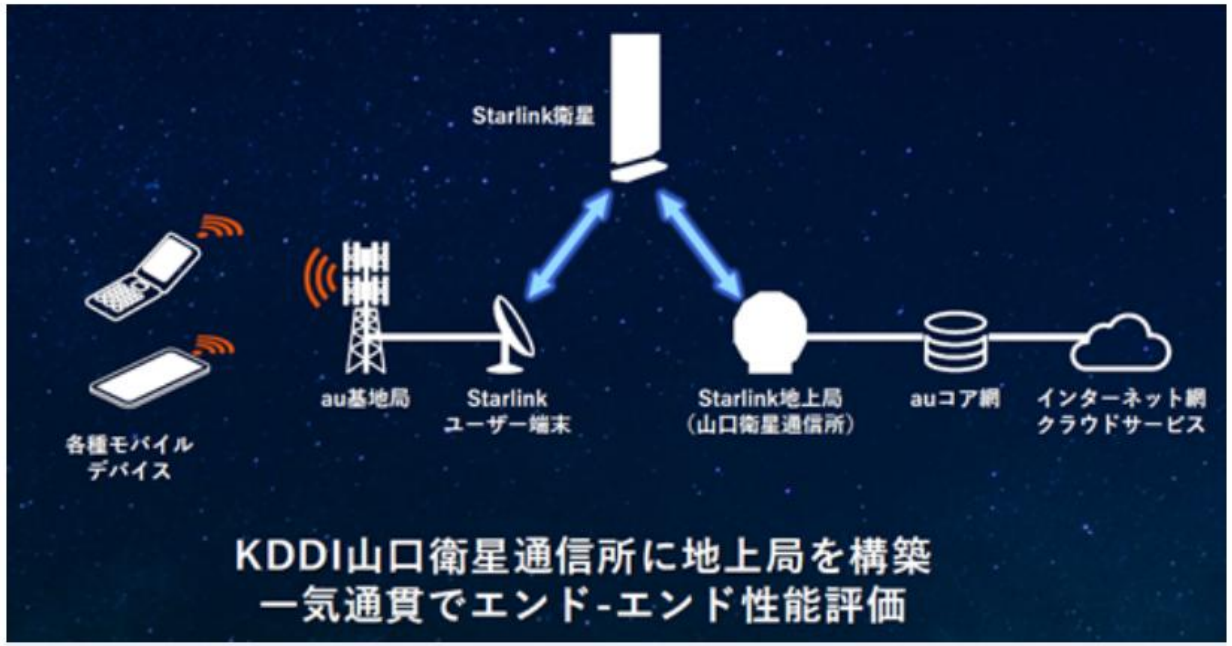
2022.12.1

つなぐチカラを進化させる　宇宙　ずっともっとつなぐぞau



KDDIトビラ
2022年12月1日の記事よりhttps://tobira.kddi.com/enhancing-power/article00012/

KDDIは、Starlinkを利用して、「宇宙から『ずっと、もっと、つなぐぞ。au』」を実現してまいります。



auネットワークへのStarlink活用

Spark Your Journey
KDDI


au Starlink Direct
日本初。
au Starlink Directなら空が見えればどこでもつながる
Starlink衛星とあなたのスマートフォンが直接つながり、
au圏外エリアでも、空が見えればどこでも通信が可能に。

2025年4月10日サービス開始、2025年8月28日サービス拡大

KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社

KDDI、沖縄セルラーは2025年4月10日から、衛星とauスマートフォンの直接通信サービス「au Starlink Direct」の提供を開始します。衛星とスマートフォンの直接通信サービスの提供は、日本初（＝注1）となります。50機種に対応し、auをご利用のお客さまは、申し込み不要で本日から当面無料でご利用いただけます。

「au Starlink Direct」は、既存のau周波数を活用して、auスマートフォンが直接通信対応のStarlink衛星とつながり、空が見える状況であれば圏外エリアでも通信できるサービスです。友人とのテキストメッセージのやり取りに加え、緊急地震速報などの受信や、現在地の位置情報を家族に共有できることで、緊急時にも安心です。さらに、Android をご利用のお客さまは、質問をテキストで送るだけで、Google のAIアシスタント「Gemini」が調べものなどをサポートします。

auの人口カバー率は99.9%を超えていますが、日本特有の地形により、面積カバー率は約60%です（＝注2）。日本全土をカバーする「au Starlink Direct」によって、残りの約40%でも通信の提供が可能となり、通信環境の整備が困難な山間部や島しょ部、キャンプ場や海上などにおいても、家族や友人との連絡手段、緊急時などに活用いただけます。

KDDIは、日本全土にauのエリアを拡張し、「空が見えれば、どこでもつながる」体験を実現していきます。





～マップ・天気・SNS・ニュースなど、圏外エリアで役立つ19アプリから～

KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社

KDDI、沖縄セルラーは2025年8月28日から、空が見えれば圏外エリアでも通信できる、衛星とスマートフォンの直接通信サービス「au Starlink Direct」において、世界初（＝注）となる衛星データ通信を開始します。既に利用可能なメッセージのやり取りに加え、対応アプリでのデータ通信が利用できるようになります。まずは Google Pixel 10 シリーズ、Galaxy Z Fold7 / Flip7から対応し、順次拡大予定です。

まずは、圏外エリアで特に役立つ19アプリが対応します。現在地確認や経路案内ができる Google マップ、リアルタイムに情報確認や投稿ができるX、大雨／台風などの気象情報を確認できるウェザーニュース、防災情報を受信できる特務機関NERV防災、登山情報を確認できるYAMAPを含めた、幅広いジャンルのアプリにて衛星データ通信を実現します。
また、アプリ開発者向けのサポートサイトを今後開設予定です。au Starlink Directへのアプリ最適化に必要な情報をご案内し、対応アプリの拡大を支援していきます。

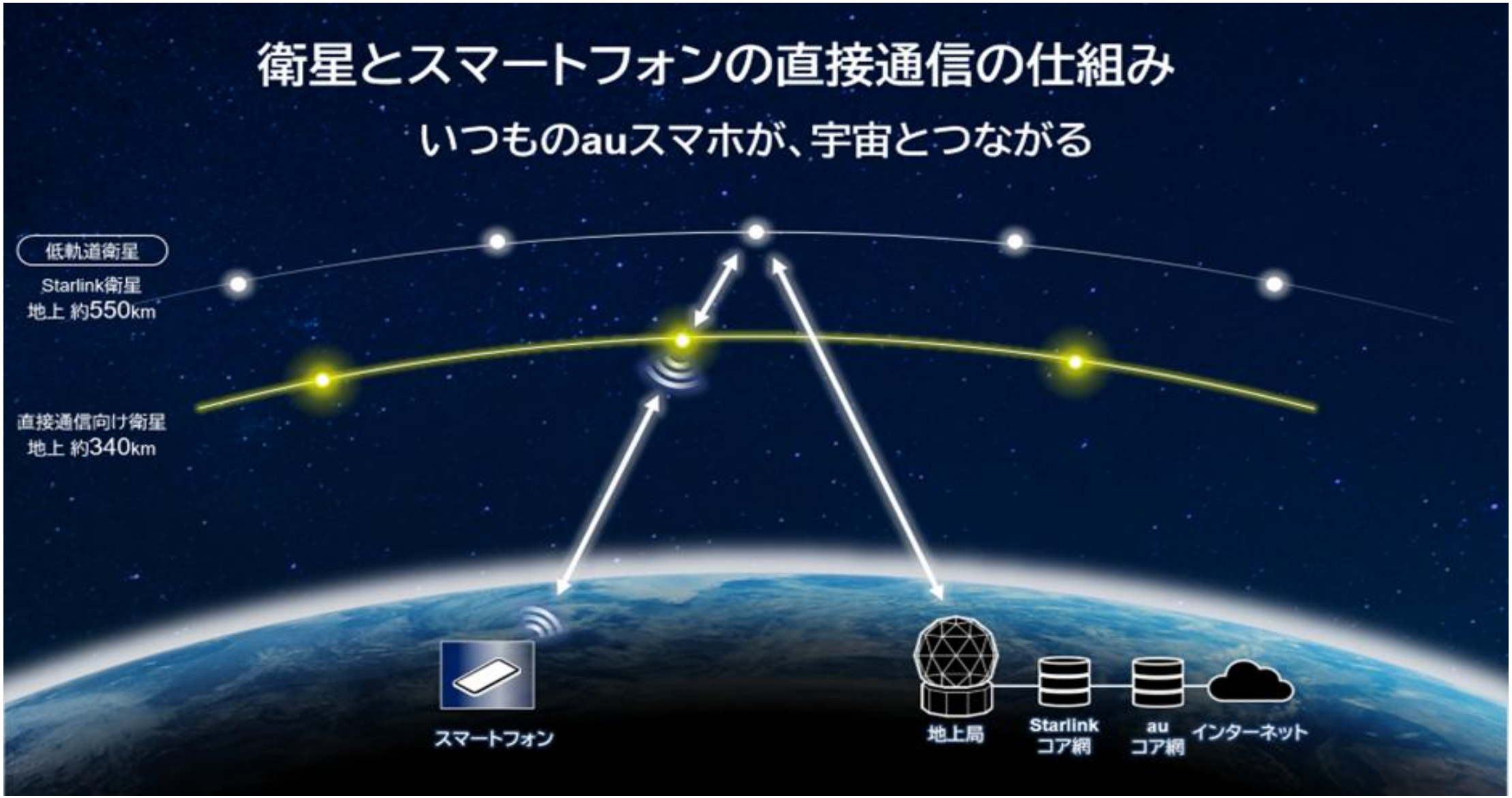
KDDIは、5G/4G LTE通信に「au Starlink Direct」が加わることで、日本全土にauのエリアを拡張しました。引き続き、「空が見えれば、どこでもつながる」体験を提供していきます。





Spark Your Journey
KDDI

au Starlink Direct



Spark Your Journey
KDDI

24時間365日のSOSセンター新設

圏外でも緊急SOSがつながる[★1]、au Starlink Direct SOSセンターを新設

お客さまが圏外からテキストのSOS情報を送信し、SOSセンターが24時間365日体制で受信そして警察や消防などの緊急通報受理機関への代理通報を行います。



4STEPで緊急SOS可能

1 アプリ起動 → 2 SOSボタンプッシュ → 3 状況回答 → 4 メッセージ送信

対応アプリ

au Starlink Direct SOSセンター

開始予定 5月下旬
- auカーナビ
- auナビウォーク

開始予定 夏ごろ
- 家族の安心ナビ
- ヤマレコ

パートナーが提供するサービス（KDDIが開発サポート）

開始予定 夏頃
- マリンコンパス

開始予定 4月17日
- ココヘリ

★1 利用環境により、接続が制限される場合があります
★2 au Starlink Direct SOSセンターは24時間365日運営ですが、対応アプリのメンテナンスなどの状況によってはご利用いただけない時間帯が出る場合があります

Spark Your Journey KDDI

アジア初、次世代衛星「Starlink Mobile V2」契約を締結

2026年09月15日　ニュースリリース

アジア初、次世代衛星「Starlink Mobile V2」契約を締結

#パーソナル　#ビジネス　#宇宙

～圏外エリアでも日常のブロードバンド体験を。高速データ通信と音声通話の2027年内提供開始へ～

KDDI株式会社

KDDIは2026年8月10日、衛星とスマートフォンの直接通信サービス「au Starlink Direct」において、圏外エリアでの高速データ通信と音声通話を提供することを目的に、Space Exploration Technologies Corp.（本社：米国テキサス州、CEO：イーロン・マスク、以下 SpaceX）と、アジアで初（※注）となる次世代衛星「Starlink Mobile V2」のサービス提供契約（以下本契約）を締結しました。従来のメッセージ送受信や対応アプリによるデータ通信に加え、日常利用により近い高速なブロードバンド通信と音声通話（VoLTE）の2027年内提供を目指します。

KDDIとSpaceXは、2021年の「Starlink」導入に向けた業務提携以降、au基地局のバックホール回線にStarlinkを採用したほか、法人・自治体向け「Starlink Business」の国内初提供を開始しました。災害発生時にはStarlinkを無償提供することで、避難所における通信復旧にもいち早く取り組んできました。さらに、2025年4月からは「au Starlink Direct」を提供し、圏外エリアにおける通信手段を拡充しています。2026年には「au Starlink Direct」の活用領域をさらに拡大し、海外ローミング接続、SOS発信による緊急時の救助要請への対応、IoTデバイスやAIドローンとの直接通信などに展開しています。お客さまの安心・安全に加え、地域インフラ、防災、獣害対策などの社会課題の解決にも取り組んでいます。

次世代衛星「Starlink Mobile V2」は、第1世代の衛星と比較してアンテナサイズが拡大し、衛星1基あたり約20倍のスループットを実現するとともに、より多数の通信ビームを活用することで約100倍のデータ密度を実現し、通信性能を大幅に向上させます。本契約を通じて、圏外エリアにおける通信手段を一段と拡充し、より安心して利用できるモバイル通信環境の実現に取り組みます。



＜左からSpaceX VP Chad Gibbs IV、KDDI 代表取締役社長 CEO 松田 浩路、SpaceX President and COO Gwynne Shotwell＞

Spark Your Journey
KDDI